



しかし、これを機に商品開発は加速しました。洋服を着るような感覚で、着物も着れるようにする。非接触で着られる着物、マジカルマインが完成すれば需要が増えるに違いないと。なぜなら、多くの方が、着物に興味や憧れを抱いているからです。

それが着物だと思っています。それを洋服のように、普段から着易いものにしたとの願いが、代表の峯の中で随分前からありました。マジカルマインに着手したのはコロナ禍以前の5、6年前です。新型コロナウイルスの到来でレンタル件数は激減し、ライフスタイルや価値観がガラリと変わりました。

着物は一般的に一人では着られない、着るのに時間がかかる、帯が苦しい、着崩れしてしまいがちという印象があるかと思えます。しかし、着物を着ると、心が高揚し、心地よい緊張感に包まれます。自分の魅力を引き出すだけでなく、見ている人も魅了する、それが着物だと思っています。

このマジカル加工着物の発想のきっかけは？

マジカル着物の着付け (今回はスタッフの方に着付けて頂きました)



まず、肌襦袢を着用し、補正パットをあてる。
続いて長襦袢をはおり、衣紋を抜く。
衿合わせをし、衿元のマジックテープでピタッ!
伊達締もマジックテープでピタッ!

次に着物に袖を通して、長襦袢との衿合わせしつつ、腰のあたりにあるマジックテープでピタッ!



伊達締めも帯もマジックテープでピタッ! ピタッ!

予め形が施されている帯結びを
背中と帯の間にスポッ!
最後に、帯締めと帯揚げを結び着付け完了!

【山口様ご感想】 着物が好きだった母の影響で、浴衣の着付なら出来ますが、着物はそうはいきません。マジカル着物は身体に合わせてあるので短時間で着れて、着くずれの心配がなくて良いです。まさか、娘と一緒に着物が着れるなんて考えてもみませんでした。娘の着付けを手伝って下さったヘルパーさんにも感謝です。





新時代を こうして切り開く

— 次世代型着物の挑戦 —

次世代型着物「マジカルマイン」と銘打ち、昨年12月からレンタル事業を開始した、レンタル着物マイン（運営・株式会社ヨシノコーポレーション）。

「いつでも、どこでも、気軽に着物を楽しんでもらえる社会を創造する」をモットーとしている。次世代型着物で新時代を切り開く可能性は如何に。営業部課長の大和由季さまにお話しをお聞きしました。

御社の創業についてお聞かせください

弊社は、昭和63（88）年、北九州市小倉に呉服の小売業として現社長の峯が創業しました。経営は順調でしたが、「街で若い方の着物姿を見かけない、このまま着てもらえないと着物業界が衰退してしまう」との懸念が生まれました。

もつと気軽に着物を着られる仕組みを作るべきだと考え、平成13（01）年に現在の基幹事業である着物レンタル業へ事業転換しました。高品質な着物を格安で一式レンタルでき、着付もサービスという点が好評で、福岡をはじめ東京・大阪など全国に10店舗展開しています。

その他、ウェブ予約システムを使用し、全国の着付師に仕事を斡旋するHOME MINE事業や、着物の

デザインから製造まで全て手がけるYDS事業、着付けの技術を教えるアカデミー事業なども展開しています。

「着物を気軽に着てもらうにはどうすれば良いのか」を常に考え事業展開しています。

マジカルマインとは、どのような着物でしょうか？

マジカルマインは、一人でも5分で着用できる洋服のような着物です。ご自宅にある着物もマジカル加工できます。着る人の身長に着物の丈を合わせ、着物を着ていても着崩れしないように、ポイントポイントにマジックテープを施します。従来からあるような二部式の着物とは異なり、生地を裁断しませんので、糸をほどけば元の着物に戻すことが可能です。



メイクを施す大和様